『近世和歌研究書要集』(全八巻)

中澤伸弘・宮崎和廣・鈴木亮
編・解題

深沢秋男

近世和歌の研究に関する基本的な文献で、現在容易に入手し難しい著者や論文を収録した『近世和歌研究書要集』が刊行された。全八巻の内容は次の通りである。

第一巻　近世和歌研究者の研究
第二巻　近世和歌研究の研究
第三巻　近世和歌研究の研究
第四巻　近世和歌研究の研究
第五巻　近世和歌研究の研究
第六巻　近世和歌研究の研究
第七巻　近世和歌研究の研究
第八巻　近世和歌研究の研究

この度の『近世和歌研究書要集』に収録された、福井久蔵・篠田光洋・松村美一・森敬三・熊谷武至

の研究や、選歌歌集解題文集

『近世和歌研究書要集』(第五巻・第六巻)

A5判
2005年11月25日発行
全8巻揃価95000円（税別）

煩をいとわず示す次のご通じである。

昭和十一年十月一日発行

村田春道・村田春鶴・村田春鷲

昭和十一年十月一日発行

村田春道

昭和十七年三月一日発行

村田春道

昭和十七年三月一日発行

村田春道

昭和十七年三月一日発行

村田春道

昭和十七年三月一日発行

村田春道

昭和十七年三月一日発行

村田春道
足代 弘訓（《足代弘訓》） 徳川光圀 安藤為章
関白江仁（『関白江仁』）

【第五巻】Province of Seiun 前述の戦国時代 中世から近世に至る歴史的変容についての記述

上のところで、加藤清正の「北の行」を参照して、近世初期の政治状況について述べた。

（以下、省略）